

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-03

学校名・団体名	岩見沢情報モラル研究会
HPアドレス	http://iwa-moral.sblo.jp
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	市内全ての学校で統一した 情報モラル指導のあり方
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本研究は、「小学校段階でできる情報モラルの予防教育のモデルの開発」を中心に研究を進めた。岩見沢市は中学校の学校選択制を行っているため、小学校で統一した情報モラル指導を行い共通の知識を育てる「全市で統一された情報モラル指導の展開」について研究を行う。さらに、インターネット掲示板を使った実体験をともなった情報モラルの学習方法を開発し、普及させる。</p>	

本研究のテーマである「市内全ての学校で統一した情報モラル指導のあり方」のために、市内小学校数校の実態調査を行った。その結果、「ネットワーク上のコミュニケーションのトラブル」が多く、いじめに繋がったり、個人の情報が流されてしまったりする事例が多かった。

そこで、本年度は、一般社団法人日本教育情報化振興会の「ネット社会の歩き方」のアニメーションを使用し、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる」内容の授業を市内で統一して実施する指導案の作成を行った。

ネットワーク上のチャットを実際に体験しながら、ネットワーク上の発言の仕方などを学習する交流授業のモデル授業を開発した。「ネット社会の歩き方」のアニメーションの使い方、指導の方法については、10月9日、10日に富山県で行われた第41回 全日本教育工学研究協議会全国大会でのワークショップに参加させていただいたときに学ぶことができた。それを本研究に生かすことができた。

【実施時期】

平成27年 5月	第1回会議	今年度の計画を打ち合わせ、各校の調査項目を検討。
平成27年 8月	第2回会議	各校の調査項目、対象学年を決定
平成27年 9月	第3回会議	各校情報トラブルに付いての報告、指導内容の検討 岩見沢市立光陵中学校にて情報モラルについての意見交換 研究員参加
平成27年10月		岩見沢市立光陵中学校にて指導案検討 研究員参加
平成27年10月7日		光陵中学校教職員対象の情報モラル教育の講演（講師 黒坂）
平成27年10月9日	第41回	全日本教育工学研究協議会全国大会に参加（10日、11日）
平成27年11月		指導案試案を作成、メールにて内容確認、意見をもらい修正
平成27年11月28日		岩見沢市立光陵中学校にて情報モラル授業を全校で実施
平成27年11月29日		岩見沢市立第二小学校 PTA 向けの情報モラル講演会（講師 黒坂）
平成27年12月 2日		情報モラルの授業の実施 岩見沢市立美園小学校 6年生
平成27年12月22日		情報モラルの授業の実施 岩見沢市立岩見沢小学校 6年生
平成28年 2月 5日		情報モラルの授業の実施 岩見沢市立メープル小学校 5・6年生
平成28年 2月15日		情報モラルの授業の実施 岩見沢市立第二小学校 6年生
平成28年 2月22日		金城学院大学長谷川教授の情報モラル講演会（岩見沢市立第二小学校）
平成28年 2月23日		交流授業 岩見沢市立第二小学校、岩見沢市立幌向小学校
平成28年 2月26日		交流授業 岩見沢市立メープル小学校・岩見沢市立南小学校
平成28年 2月29日		(株)ゆめかな石川尚子氏によるコーチングの講演会（岩見沢市立光陵中学校）

このほかに、岩見沢市立志文小学校、岩見沢市立北村小学校、岩見沢市立中央小学校、岩見沢市立幌向小学校が3月中に情報モラルの授業を実施する予定である。

・情報モラル授業の成果・課題

中学校進学前に、中学校区の小学校で統一した情報モラルの指導ができたことと、中学校との連携を視野に繋がる授業を考えることができたことが有効であった。今年度は、市内14校のうち8校での実施にとどまってしまった。中学校が選択制であるため全市で行わなければ学習の差が生じてしまう。情報モラルの知識や理解が偏ってしまうことに寄るトラブルも考えられるので、次年度以降、市の研究所に相談し、各学校へ広められるよう働きかけていく。

・情報モラル学習と交流の成果・課題

実体験をともなった学習のため、子ども達が意欲的に学習に参加することができた。そのため、主体的に利用方法、注意点などを交流することができた。ニックネームを使ってチャットをしているときには、発言が目立った児童も、テレビ会議で発言に戸惑う場面が見られた。ニックネーム、顔が見えないことで発言しやすかったと述べていた。チャットでは教師が児童になりすましを行ったのだが、子ども達は大人だと思わずに、個人情報や写真を流そうという場面も見られた。交流後の反省ではなりすましの怖さ、個人情報を守る必要性が子ども達が気づくことができた。

今後はこのような学習を市内の小学校にどのように広めていくかが課題である。チャットを利用する、テレビ会議を利用するという事が、得手ではない教員にどのようにアプローチしていくか検討していく。そして、今回の研究では、ウェアラブルカメラを導入し、子どものチャットの様子を記録することができた。今後、解析を行っていく。

今年度の研究では、全日本教育工学研究協議会全国大会に参加させていただいたことで、先進的な情報モラルの事例を学び、研究に生かすことができた。さらに長谷川教授の話聞くことで交流学習の有効性を聞くことができた。さらに、研究員のアイデアで情報モラル指導にコーチング指導を取り入れるという新たな指導の方法が見いだされた。次年度は、今年度の研究のブラッシュアップとコーチングを取り入れた指導方法の開発を行いたいと考える。